

「子どもの食 応援ボックス」の取組み

2021年夏・冬 コロナ禍の子育て家庭を、複数団体・企業の協業で応援

2022年夏・冬 withコロナ常態化の社会で経済的困難な子育て家庭を連携支援

* 有事の際に、持続可能性の観点より、まだ食べられる食品を有効活用する枠組みを構築

成果

商品構成の
バラエティの確保

提供ができる
規模の拡大

協業による
効率的な運営

-参加組織-



■ 提供食品の背景

- ・正規品・販売期限切れ品・終売品・リニューアル旧品・新/季節品・販売見込み差異
- ・製造端数・輸入時品質検査抜取りによる箱入数不足品・外箱不良品・災害用備蓄品等